

会議の結果報告

名称	令和7年度 玉川地区学校適正配置地元代表協議会【第2回】	
開催日時	令和7年12月23日（火） 19時00分～20時30分	
開催場所	玉川支所 2階 大ホール	
出席者	【委員】	会長 外23名（教育長、副教育長を含む）
	【その他】	玉川支所長
	【事務局】	今治市教育委員会教育政策局長 外7名
傍聴者	なし	
議題	1 2 3 4	前回出た質問や要望への回答について 学校小規模化による教育上の課題について 学校統合による地域への影響について 意見交換
議事内容	1	<p>前回出た質問や要望への回答について</p> <p>・各小学校（鴨部小・九和小）を中心とした1キロメートルごとの同心円により、通学に係る距離がわかる資料</p> <p>・玉川町の校区内にある保育所の園児数と、小中学校の校区外就学許可事項についての資料</p> <p>・小学校の施設管理コストと、学校統合による交付税措置への影響がわかる資料</p> <p>・平成25年4月2日付玉川地区学校適正配置地元代表協議会の意見書</p> <p>上記各資料を提示した。なお、玉川町内から校区外へ通学している児童生徒数については、口頭で説明した。</p> <p>通学距離を示す資料について、同心円ではなく、より実際の通学距離に近い資料の要望があった（次回提示）。</p>
	2	<p>学校小規模化による教育上の課題について</p> <p>過小規模校（複式学級がある学校）のメリット・デメリットを中心に説明した。また、現在の教職員の配置基準を説明した。</p> <p>校区探検など通学以外でのバス利用について意見があった。</p> <p>スクールバスが2路線になればコストが増えることから、議事1提示の施設管理コストと交付税措置への影響についての資料では誤認が生じるという指摘があった。</p>
	3	<p>学校統合による学校・地域への影響について</p> <p>・統合により廃校になった学校も避難所として維持されるのかという質問と、地域の防災用の備蓄について要望があった。</p> <p>廃校後にも避難所として指定されている例を挙げ、要望は担当課につないでいくと回答した。</p>

		<p>・避難所に指定されている玉川艇庫をボート協会と共同使用していることから、緊急時に避難所として使用できるのか不安があるという意見があった。</p> <p>担当課共有すると回答し、了承を得た。</p> <p>・社会体育等で学校体育館を使用する頻度・人数について資料の要望があった（次回提示）。</p> <p>・土砂災害の警戒区域に入っている学校は、何か対策をしてほしいという意見があった。</p> <p>施設面だけでなく、ソフト面での対応も考え、保護者の不安を少しでも埋めるよう施策を実施していきたいと回答した。</p>
	4	<p>意見交換</p> <p>・将来的に少子化が続く過程で地区に子どもが1人となる時期がくる。バス通学の対象でない地区の場合、どのような対応となるか質問があった。</p> <p>スクールバスの活用や、タクシー送迎の例を口頭で提示した。また、現時点で既に1人の通学班でも、遠くまで1人で帰っている状況ではないことを各小学校校長に確認し、状況に応じて柔軟な対応が必要という意見としてまとまった。</p> <p>・保護者、域住民への説明会について実施状況と予定の質問があった。</p> <p>要望があれば事務局が学校体育館等で行うことを伝えた。また、支所広報誌への折込による協議経過の周知について要望があった（近日実施）。</p> <p>・今後の協議スケジュールを確認できる資料の要望があった（次回提示）。</p> <p>・鴨部小学校で実施した保護者アンケートにより、玉川中学校での統合を望む声が多かったことから、次回統合案は玉川中学校での統合案も含め検討することとし、玉川中学校保護者と高野自治会長の協議会参加について委員全員の承認を得た。</p> <p>・本会について、地元の任意団体であることを今一度念頭に置き協議を進めたいという意見が出た。</p> <p>次回の会議では、統合の是非、統合場所、新しい学校の在り方について話し合う旨を共有した。</p>
備考		<p>次回の開催は、令和8年2月12日（木）午後7時から玉川支所2階大ホールを予定。</p>